

2月21日(月)「第20回トム・ソーヤースクール企画コンテスト努力賞」

元気よく朝の挨拶をしましょう。おはようございます。

みんなが大好きな滝坂の森は、開校140周年の時に当時の6年生が総合の学習で作った森です。自分たちで土を運び、地域の方々に呼びかけて分けていただいた木を植え、在来種を集めたそうです。それから毎年6年生が引き継ぎ、9年がたちました。今では、いろいろな植物やそこにすむ生きものと触れ合えるすてきな場所になりました。理科や生活科、総合的な学習の時間の学習でもみなさん使っていますね。1月には今年の6年生が作ったわかくさの森が完成しました。これから春になると、滝坂の森とわかくさの森を生き物が行きかうことができます。滝坂小の中にもグリーンベルトができたということです。

6年生の先生方は、自分たちがすむ地域をよく知り、自分たちの地域はいいな、もっと地域をよくしていきたいそんな気持ちを6年生にもって欲しいと願い、一年間の学習を計画して取り組んできました。一番身近な自然である「滝坂の森」を使い、地域の人や自然との関わりを取り入れた学習をネイチャーセンターリセンの岩間先生や宮川先生にもご指導をいただきながらたくさんしてきました。

この写真を見てください。

- ①これは地域の方にインタビューしたときの様子です。  
住みやすい街作りは自分たちだけではなく、地域の人たちの思いを知ることが大切だと気付くきっかけになったそうです。
- ②これは、滝坂の森の木に樹名板を取り付けている様子です。  
どんな木なのか下級生に興味をもってもらえるように説明文を考え、丁寧に書いたそうです。
- ③これは、わかくさの森完成式の様子です。  
6年1組・2組・わかくさ学級の6年生80人が協力してわかくさの森を作り上げました。この活動を通して、さらにみんなが仲良くなったそうです。

このような取り組みが今回評価され、「第20回トム・ソーヤースクール企画コンテスト」で滝坂小学校は努力賞をいただきました。立派な賞状をいただきましたので、今からそれを読みます。

賞状 努力賞 調布市立滝坂小学校殿

貴校が2021年度「第20回トム・ソーヤースクール企画コンテスト」に応募された自然体験活動企画「滝坂の森発！調布にグリーンベルトを広げよう」はユニークなプログラムを通して、自活力と思いやりの心を育み、子供たちが達成感に満ちあふれた活動でわが国における自然体験活動の模範となる優れたものがありました。よってここに賞を贈りその栄誉をたたえます。

2022年1月29日

公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団 理事長 安藤宏基

こんな素敵な賞を滝坂小がいただけたことは、とてもうれしいことです。これからもみなさんが、滝坂の森やわかくさの森でたくさん自然に親しみ、明るく元気に学校生活を送っていきけるといいですね。きっとわかくさの森を作った今年の6年生は、それを一番願っていると思います。